



## 三春中学校だより

第 65 号

発行日 令和 2 年 3 月 26 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

### 【令和2年春の全国交通安全運動が6日（月）から！ ～かけがえのない命は一つ。～】

感染防止にむけ外出の際には十分注意するようにと過ごしている臨時休業、そして、春休みですが、ご家庭におかれましては、これまで十分注意を払いながら過ごすことができているようです。素晴らしいことだと思います。

さて、令和2年度の新年度を迎えるにあたって、今年も『春の全国交通安全運動』が実施されます。学校が再開され、いつもどおりの学校生活が送れるよう、新型コロナウイルスだけではなく、慣れない時期の交通安全にも十分注意しながら、学校生活を充実させてまいりましょう。

概要は以下のとおりですので、徒歩通学、車での送迎、一般の方との混乗となったスクールバス、いずれの通学手段においても、それぞれが交通ルールや交通マナー、公衆道徳・マナーを守って、みんなが安全・安心に過ごせる地域づくりに取り組んでまいりましょう。

- 1 目的 交通事故防止の徹底を図る。
- 2 期間 令和2年4月6日（月）～4月15日（金）までの10日間  
※ 4月10日（金）は、『交通事故死ゼロをめざす日』
- 3 運動のスローガン 『スマホより 横断歩道の 僕を見て』  
※ 年間スローガン 『みんながね ルール守れば ほら笑顔』
- 4 運動の重点 重点1 子どもをはじめとする歩行者の安全の確保  
重点2 高齢運転者等の安全運転の励行  
重点3 自転車の安全利用の推進

### 【学校再開にむけて！ ～春休み・入学式について町より指示がありました。～】

3月23日（月）付の町教育委員会よりの文書で、『新型コロナウイルス感染症予防対策に係る学年末・学年始休業の過ごし方と入学式の運営方法について（依頼）』という文書が届きました。

学校再開にむけて春休みを健康で過ごし、4月6日（月）の始業式・入学式にはいつもどおりに登校しましょうという内容の文書でした。それを受けて本校としても、春休みや4月6日（月）の在り方について至急検討しているところですので、決定次第速やかにお知らせいたします。

以下は文書の概要ですので、お知らせいたします。

#### 『新型コロナウイルス感染症予防対策に係る学年末・学年始休業の過ごし方の周知と入学式の運営方法について（依頼）』（抄）

3月24日からは学年末・学年始休業となりますが、新型コロナウイルス感染に関する国内外の状況に大きな改善が見られないため、下記のとおり、引き続き各家庭での児童・生徒の過ごし方にご配慮をお願いします。

さて、4月6日（月）に小・中学校で予定されている入学式につきましては、予定通り実施を想定していますが、運営方法を下記のとおり変更し、町内統一して対応することとなりましたのでご協力をお願いします。

記

- 1 学年末・学年始休業の過ごし方について
  - (1) 新型コロナウイルスの集団発生防止のために、下記の3条件に気をつけて生活する。
    - ① 換気の悪い密閉空間 ② 多数が集まる密集場所 ③ 間近で会話や発声をする密接場面
  - (2) 規則正しい生活と適度な戸外での運動を取り入れ、健康的な生活を心がける。また、手洗いやうがいを励行する。
  - (3) 中学校の部活動については、学年末・学年始休業中は実施しない。
  - (4) 4月6日（月）は通常通り始業の予定です。
- 2 入学式の運営方法について
  - (1) 参加者は、入学生、職員、保護者、来賓の一部とする。
    - 在校生の参加は学校の実情により判断する。
    - 来賓の参加については卒業式同様とする。
  - (2) 限られた時間の中で入学式の意義が共有されるよう運営方法を工夫する。
  - (3) 町当局、議会代表の祝辞は行わず、お祝いのメッセージを要項に掲載する。
  - (4) 会場の座席は可能な限りスペースを空け、感染防止に努める。
  - (5) その他の配慮事項
    - ① 児童・生徒及び参加者には、手洗い・せきエチケットの励行を周知する。
    - ② 発熱者や症状のある児童・生徒、参加者は参加を遠慮していただく。
    - ③ 会場の定期的な換気を行う。
- 3 その他

- (1) 学校体育施設の社会開放は利用者が限定されることから4月13日(月)から再開する。
- (2) 利用団体の責任者には、名簿等により利用者を確認する方法をお願いします。

## 【がんばった1・2年生へ！ ～修了式に際しメッセージをおくります。～】

臨時休業のため、令和元年度をがんばった在校生の1・2年生に対して、そのがんばりを認め、励ます機会がありませんでした。3月23日(月)の修了式に際して、修了式の式辞を作成いたしましたので、がんばった子どもたちの令和元年度に対してねぎらいの言葉と賛辞を贈りたいと思います。

### 『令和元年度 三春町立三春中学校 修了式 式辞』

今日で令和元年度、開校7年目の三春中学校の教育活動が区切りを迎えます。

1年生110名、2年生93名の生徒のみなさん、これまで、『忠恕』『探究』『必達』を目標に、『共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに』それぞれの形で命を輝かせ、さまざまな活動に一生懸命取り組んできたことに心より敬意を表します。本当によくがんばりました。

さて、みなさんの今、心の中にある『命の輝き』=『わたしにはこれがある』とは何でしょうか。また、みなさんが文化祭『HARUFES』でめざした『伝統』は確かなものとなったのでしょうか。そもそも『伝統』とは何でしょうか。これまでの取組をとおして、あらためて考え直した人もいるのではないのでしょうか。

三春中学校の教育目標は、『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』です。そして、それをさらに端的に、『うるわしい心』、『心身を鍛え未来を切り拓く力』、『夢にむかって学び続ける力』、つまり、『忠恕』・『探究』・『必達』という三春中学校生徒のめざす3つの生徒像として示しています。コミュニティー・ガーデンにいつも掲げられ、私たちが社会に認められる形での正しい判断・選択の拠り所としてきたものです。

昨年4月の始業式で、『烏合の衆』というお話をしました。目標や方向性もなく、ただ集まっているだけの集団のことです。そのようなはかない結びつきの集団とならないよう、みんなで目標を共有し、困難に際しては互いに励まし合いながら、心と心でつながり合った『チーム三春中』をめざしてまいりました。

この1年間を通して、みなさんはさまざまな出会いをし、かけがえのない学びに遭遇しました。一つは自分自身のこと、もう一つは、社会・集団の一員としての在り方についてでした。この1年間でみなさんが身につけ、伸ばし、改善してきたことは、努力すること、がんばること、我慢すること、強くなること、続けること、折り合いをつけること、協調すること、工夫すること、リーダーシップ、思いやり、優しさ、正しく判断とよりよい選択などです。その一つ一つがみなさんが今後生きていく上での大きな拠り所となってきます。道に迷ったときこそ、『あのときどうしたっけな?』と自らの学びを振り返り、社会に認められる形での正しい判断と選択を続けていってください。

また、始業式ではこんなお話もしました。中学校生活は、『時間と場の勝負』ですというお話です。その『時間と場の勝負』が、誰にとってもかけがえのない3年間となるよう、3つの『ルール』についてもお話しました。第一は、一人ひとりの『命のかけがえのなさやその重み』を大切にすること、第二は、相手の立場にたち、みんなが『学びやすい環境づくり』に努めること、第三は、『その一言』を大切にすることでした。先生方にも同じお話をしました。一人ひとりに応じた指導をし、本当の意味で自分自身を大切にできる生徒にすること、『連携・コミュニケーション』を心がけ、誰もが学びやすい教科教室づくりや集団生活のルールを守る生徒にすること、相手を尊重し、思いやり、「大丈夫」「ありがとう」「助けて。」などの『その一言』を場に応じて伝えることができる生徒になるよう導いていってくださいとお話しました。そうして、これまで1年間の学びをとおして、三春中学校で生活するすべてのみなさんは、それぞれの『命の輝き』を見つけ成長してきました。国民の期待の現れとして4月に無償で配付された教科書、そして、目の前にいらっしやる『先生』という人生の教科書から、知識や技能、生き方などについて学び、『チーム三春中』として、『共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに』よりよい学校づくり、こころ豊かな自分づくりに取り組んできました。そして、成長しました。自分の周りのすべてが自分自身を大きく成長させてくれる『教科書』だと考え、たくさんのことを吸収し、自分自身をより大きく成長させてきました。これからもみなさんの可能性を信じます。

今、世界は、未知のウイルスの感染拡大に輝く未来図を描くことが難しそうに映ります。これだけ医学が進歩する中、自然に対してもっと謙虚であることを考えさせる出来事でもあります。しかし、私たちは人間の知恵と勇気を信じたいと思います。卒業生に贈った言葉を繰り返します。「明けない夜はない。」「一歩一歩が苦しい。しかし、いつかこの一歩が終わるときがくる。だから今この一歩をがんばろう。」シェークスピア、そして、田部井淳子さんの言葉です。希望をもち、前を向き歩んでいきましょう。

令和元年度『チーム三春中』もあとわずかです。卒業生と同様、在校生のみなさんも、それぞれの『命の輝き』で三春中学校を照らし続けてくれました。これからも、人の心の温かさと強さを忘れず、人を愛し、人を許し、心身健康で、自分以外の命のために自らを分け与えることのできる学校づくりを、先生方と『共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに』めざしてまいりましょう。

令和2年度も、三春中学校で学ぶすべてのみなさんが、「楽しかった。」「一生懸命がんばった。」「三春中学校でよかった。」と言って卒業・進級していけるよう心から願い、令和元年度三春町立三春中学校修了式式辞といたします。